

2017年7月28日(金)～30日(日)

in 宇部市立図書館

平和フェスタ 2017

恒例の夏の学習会を、今年は、医療生協健文会主催の平和フェスタの企画の一つとして開催しました。



企画展示

期間中、1F 展示室にて開催



DVD「アボジは海の底」上映会

7/28(金)14:30～15:30

7/29(土)10:00～11:00

二日間で約 140 名の参加がありました！

DVD 上映会参加者の感想より

たくさんの方々に感想を寄せていただきましたが、その中の一部を抜粋してご紹介します！

☆長生炭鉱のことは次世代に語りついでいてほしいです。西岐波小の子どもが授業で学習していたようですが、近くに住んでいるのに親は知りませんでした。

☆忘れてはいけない出来事を再確認できた。

☆西岐波の床波の出身です。地元の子供達にも長生炭鉱の歴史を伝えて頂けたらと思います。

☆西岐波に生まれて45年ですが、水非常の詳しい内容はほとんど知りませんでした。とても貴重な機会となりました。ありがとうございました。

☆東見初に住んで小学校5年生まで炭鉱で過ごしましたが、全く知りませんでした。小学校の仲の良い友人がおりましたが、家に遊びに行ったりしたことを懐かしく思い出します。朝鮮半島の人々、中国の人々にそして戦争で亡くなった日本人の人々に多大な迷惑を掛けたことを決して日本人は忘れてはいけないことを改めて思いました。

☆何年か前に長生炭鉱の事を知りました。日本政府はなんとむごいことをしたのでしょうか。戦争はいつも人を殺すだけでなく人の心までも抹殺してしまう。だから戦争は絶対反対です。憲法9条を守っていきましょう!!是非海底下に放置されている遺骨を引きあげて遺族の元に帰してあげて下さい。(私も1度は犠牲者の碑にお参りしたいと思います。)

地元西岐波の方々にも多くご参加いただきました。ありがとうございました。

刻む会 たより

No.66

2017. 9. 22

長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会

共同代表

井上洋子・内岡貞雄・木村道江

事務局

宇部市常盤町一―一九(宇部緑橋教会内) TEL 0836(21)8003

カンパ振込先

ゆうちょ銀行 口座番号 01590-7-32405

名義 長生炭鉱の「水非常」を歴史に刻む会

年会費

《正会員》個人3,000円 団体5,000円 《賛助会員》個人1,000円 団体2,000円

ホームページ

<http://www.chouseitankou.com>

メール

kizamukai@chouseitankou.com

在日のご遺族に会って

くすべての力を遺骨収集に

共同代表 内岡貞雄

1 李元宰さんのこと イウォンジェ

李元宰さんは長生炭鉱水没事故の犠牲者、李康臣（イ・ガンジン）さんの息子である。水非常のあった1942年2月3日、康臣さんは享年47歳で、元宰さんは26歳だった。父康臣さんは、長生炭鉱のきわめて劣悪な労働実態を聞き、労働環境を少しでも改善しようと1941年10月に、福岡県内の炭鉱からやってきた。当日、息子・元宰さんは市内の宇部窒素工場の夜勤中で、事故の知らせを聞くやいなや現場へ駆けつけた。坑口周辺は呆然とする人、号泣する人、会社に詰め寄る人、事務所の窓ガラスの割れる音等々、騒然とした様子であった。（宇部時報1991年12月10日）

事故後、元宰さん一家は、しばらく、ときわ公園付近に住んでいたが、一家の大黒柱を亡くした家族の生活は経済的に大変であった。長女の李幸子（イ・ヘンジャ）さんは事故の翌年に生まれた。

1991年10月に「刻む会」が韓国や共和国の犠牲者の本籍地に発信した「死者への手紙」の118通の一つが、康臣さんの故郷、韓国慶尚南道金海郡を経由し、京都在住の元宰さんに届いた。彼はその年の12月に宇部を訪れ、40数年ぶりに長生海岸の事故現場に立

った。「山口武信代表と『刻む会』が、何もしない国や山口県、宇部市に代わって私を父に逢わせてくれた」と述べた。その後、彼は9年間にわたり追悼式に出席するとともに韓国遺族会総会（1996年）にも参加し、いろんな場面で「刻む会」の活動を助けた。元宰さんは、国を相手取り裁判訴訟を起こそうとしたのを受け「刻む会」で検討したが難しく、訴訟に至らなかった。元宰さんは2001年8月15日、日本の敗戦から56年目の日にお亡くなりになった（享年84歳）。翌年から、追悼式に彼の遺影が飾られた。

2 元宰さん一家のこと

○長女・李幸子さん

父親の李元宰さんが幸子さんを伴って追悼式に参加されたのは1999年（57周年）と2000年（58周年）である。幸子さんの娘さんは、その時の様子を母・幸子さんから聞いた。「『刻む会』の皆さんに温かく迎えられる、交流会でお互いの家族の事などを話題に、楽しいひとときであった」と嬉しそうに話したという。娘さんは、現在大阪にある病院の看護師を統括する仕事で多忙を極めておられるが、そうした中で「刻む会」に何度か募金をして下さった。筆者が今年6月、彼女に手紙を差し上げたところ、「叔父さん（犠牲者の孫）に会ってください」とその労を取ってくださった。

○三男・松山光明（李光明）さん



58周年（2000.1.29）追悼式のご遺族参加者（前列右端李幸子さん、甲列左から3人目李元宰さん）

元宰さんには5人のお子さんがいる。光明さんは末っ子である。「この名刺は設計士の次女が作ってくれたんですよ」と笑顔で言われた。光明さんに今年の9月10日にお目にかかった。

Q「刻む会」のこと、お父様から聞いていますか？

A「そうですね、父が長生炭鉱のことに熱心に関わっていたことは勿論、知っています。詳しくは聞いていません。山口代表のことは何度か耳にしました。山口さんは人間的にも立派な方で、数十年にわたって長生炭鉱のことに熱心に取り組まれている方だと聞きました。」

Qお父様は教育熱心であったようですが、日本社会で通用する資格を持つ事が必要だと考えていたのですか？

A「そうですね。私は京都の私立中高一貫教育の学校で勉強を鍛えられました。高校3年間は学校の方針もあり李光明で通

しました。それは父の希望でもあったと思います。その後、東京の大学に進学させてもらい、薬剤師の免許を取りました。父からは『しっかり勉強しなさい』とよく言われました。」

Q 宇部のことは聞いてますか？

A 「祖父のことや宇部での生活はほとんど聞いていません。幸子姉からは追悼式の様子を聞いたことはありますけど。」

光明さんは、看護専門学校の先生をしている方なので、話題が豊富で話は弾んだ。DNA検体採取をお願いしたところ、サツと行ってくれた。

最後に、来年の76周年追悼式への参加をお願いしお別れした。

3 遺骨収集に向けて

松山光明さんは、DNA検体採取の目的（海底下の遺骨と照合するため）をお話した際、とても真剣な表情で聞いてくださった。祖父のことはよく知らないまでも、父親があれほど全力投球した長生炭鉱への思いを十分に理解しているのだろうと思った。

「刻む会」は遺骨収集に向け、あらゆる力を結集しながら前進しなくてはならないと改めて感じた。



松山光明さん（左）

民団広島主催「第48回韓国人原爆犠牲者慰霊祭」に出席して

共同代表 井上 洋子

広島市「平和記念公園」内にある「韓国人原爆犠牲者慰霊碑」前で、8月5日10時より在日本大韓印刻民団広島県地方本部（民団広島）主催の慰霊祭が300人を超える参列者の中、しめやかに行われた。刻む会より私と娘、小畑事務局長の3名が参列させて頂いた。

被爆で犠牲になった朝鮮半島の人々は2万数千人と言われているが、ここには今年新たに11名が追加されて、総数2734名の死没者が奉納されていて、残りの遺骨もお名前もわからない皆さまに対して、心の底からお詫びを申し上げたいと思った。安倍首相が日本の代表として参列すべき慰霊祭だと思う。

また、今年も韓国から大学生が多数参列されていた。「日韓誠信学生通信使2017」と和解と平和の未来へ」という横断幕をかかげ、早稲田大学と韓国ソウルにある高麗大学の学生の交流グループの皆さん方だった。誤った悲しい過去を正面からお互いに見つめて新しい未来を模索する両国の若者の姿に確かな希望をいただいた。

午後からは駐広島大韓民国総領事主催の「午餐会」がホテルグランドピア広島で開催された。自民党から共産党まで党派を超えた出席者があり、「在外被爆者援護法」の制定に尽力されたという。刻む会にとっても、遺骨収集の課題に対して、人権の観点からこのよ

うな超党派の結集を呼び掛けていかななくてはならない。

同じテーブルに同席した在日の女性は61才で、母親は15才で結婚したそうで、「どうしてそんなに早く結婚したのか」と母親に問うと、「当時は慰安婦狩りがうわさになっていて、慰安婦にされないように親に結婚させられた」と答えたという。私の中で慰安婦狩りが急遽現実味を帯びたお話だった。

この席を利用していただき、国会議員の皆さまに「遺骨収集」へのお力添えも挨拶がたがたお願いして回った。

最後に、駐広島大韓民国総領事の「長生炭鉱問題」に対するこの間のご尽力に心から感謝とお礼を申し上げ、「遺骨収集」を日韓の共同事業として必ずや押し上げ、朝鮮半島との平和的友好に寄与していきたいと強く願って報告とします。



早稲田大学と韓国ソウルにある高麗大学の学生の交流グループの皆さん方

釜山「国立日帝強制動員歴史館」を訪れて

賛助会員 松井かつみ

7月15日 釜山の国立日帝強制動員歴史館を訪れました。「長生炭鉱の展示があるから見に行かない?」と、共同代表の井上洋子さんから誘われて。

現代的で大きな建物、その常設室4階・5階を見学しました。

5階は戦場、慰安所、炭鉱等の再現フロア。兵隊たちが防空壕を掘っている後に『航空機爆撃の時には朝鮮人は森に行きなさい。朝鮮人は防空壕に入ることができない』という立札が見える。

『本規定ハ比島軍ヒサヤ支部イロイロ出張所管理地区内ニ於ケル慰安所実施ニ関スル事項ヲ規定ス、慰安所ノ監督指導ハ軍政監部之ヲ管掌ス、「サツク」使用セサル者ノ遊行拒止:』等の「慰安所規定」もある。

展示故に、清潔な軍服姿の兵隊たち、汚れない慰安婦のベッド、傷んでいない炭鉱の長屋:生々しさはないが、当時を想像しながら見学した。

4階は強制動員された歴史・実状・被害者の帰還までを所持品・写真・手記等で示すフロア。

ここにはピーヤの大きな写真があり、左隣にハングルの説明文が:。

「日本各地の作業現場」

Work sites in Japan

各種の労働現場では徹底した監視と統制のもとに集団労働を強制され、脱出を試み捕まった朝鮮人労働者には皆が見ている前で『みせしめ』として激しい殴打が加えられた。

日帝の危険な作業現場では、安全管理を無視したまま無理な操業を強行する事例が多かった。その為、落盤やガス爆発、崩壊等の事故が途切れなかった。そういう訳で日本では『枕木一つに朝鮮人(の命)一つ』という表現が生まれるほどだった。

山口県宇部市の長生炭鉱では無理な操業が強行され、朝鮮人鉱夫130余名が坑道崩壊で犠牲となったが、遺骨は収集されないまま現在に至っている。

(翻訳:キンビョンジンさん)

フロア出口のパネルには、こうした事実を明らかにした18名(多くは日本人の写真があり、その中に山口武信さんの笑顔もありました。



釜山「国立日帝強制動員歴史館」にあるパネル。
下段真ん中に故・山口武信さんの写真がある。

※参加者

井上洋子さん・娘さん、小畑牧師さん、松井敏男さん・私の5名。現地で井上さんの友人・チェさん(父は北海道の炭鉱へ強制動員され、帰国後15年間は働けなかった)

日程

7月14日 下関港から関釜フェリーへ15日釜山港から関釜フェリーへ16日 下関港着15日(土)朝 釜山入港

港でチェさんと合流。彼の乗用車(5人乗り)で「従軍慰安婦像・釜山博物館【出土品・美術品等展示】・国立日帝強制動員歴史館を見学、サシミ亭で昼食後 ロッテデパートを回り、港で降車。

経費

約2万2千円 (船賃 約1万4千円、食事代 約8千円、釜山の移動費 今回は無し、見学代 無料)

今回の旅行は、展示を見たい!という方の自主的訪問でした。参加された松井さんが率直な感想を寄せて下さったので掲載しました(^^)興味のある方は関釜フェリーで船中2泊!手軽に行けるのでお勧めです!



無窮花堂遺骨奉還式に参加して

運営委員 金静媛

7月22日、飯塚市の無窮花堂に安置されていた「故金千萬」さんのご遺骨を遺家族のお二人が引き取りに來られました。(次男・嫁、孫)

奉還式に「刻む会」から内岡貞雄共同代表と金が参席しました。犠牲者の金さんは1942年9月に「徴用」強制連行され、45年9月に亡くなられ飯塚市内の寺院に納骨されていました。どこの炭鉱かは不明です。

2001年に前理事長のペ・レソンさんが訪韓し、ご遺族と会われたのですが、当時はご遺族の経済的な事実等で引き取りができず、この間ご遺族との消息も途絶えていました。

今年の6月の再訪韓にてソウル在住のご遺族を探しあて、死後72年ぶりの奉還を迎えられました。

無窮花の会の吉柳順一理事長は「引続き、ご遺骨を探し、ご遺族にお還しする活動を続けて行きます」と閉会の挨拶で強調されました。

炎天下での奉還式。納骨堂広場のムグンファの花の美しさで涼を得ました。

強制労働犠牲者の後世が通う、朝鮮学校への不当な処遇、広島無償化地裁不当判決と重ね合わせ、胸が詰りました。

75年ぶりに遺家族への遺骨奉還

NPO法人国際交流広場無窮花堂友好親善の会
理事長 吉柳順一

今月7月21日(土)から22日(日)にかけて。ソウルから「故金千萬」さんのご遺族が、無窮花堂に安置されていたご遺骨を引き取りに來飯されます。「故金千萬」さんは、1942年9月に徴用・強制連行され、1945年9月10日にこの地で亡くなられ市内の寺院に無縁仏として安置されていた。その後2000年12月に無窮花堂が建立され、同胞とともに無窮花堂に納骨されました。

2001年前理事長裴來善さんがご遺族と面談されたとき、長女の話では、長女が子守りに出かけていて帰って来たら働き手だった父親は連行されていた。急に働き手をなくしその後はそれまで以上に非常に苦労して今日に至っているとお話でした。(TNCの取材に応じて。)当時は経済的な問題もあって引き取りに至りませんでした。

今回6月28日から30日にかけて再度遺族の所在調査で韓国を訪問しました。2001年の所在地を訪ねましたが既にそこには所在されておらず、いろいろ調査をする中で、次男がソウルに在住されていることが判明しました。その後ソウル在住の当会の理事が次男さん宅と連絡を取り、次男さんらは話し合った結果ぜひ遺骨を引き取りたいとの申し出があり、今回遺骨の引き取りにおいになることとなりました。引き取りには次男は高齢で病弱のため來飯できないため、次男の連れ合いさんと子どもさん(金千萬さんの孫)が無窮花堂に訪れることになりました。

私たちは戦後72年という時間経過と朝鮮戦争という混乱を経てなかなか遺族の所在は判明しませんが、今回の遺族調査の成果を踏まえ、少なくとも本籍地等の判明している遺骨については、様々な団体・個人等の協力を得て調査を続け、一柱でも遺家族のもとに返す努力を続けていきます。



戦時下に徴用、死亡 無窮花堂に安置 金千萬さん故国へ 飯塚 遺骨、遺族に引き渡し



が21日の韓国・ソウルから来日した遺族の次男、金千萬さん(48)と次女の朴静子さん(46)が、飯塚市内の無窮花堂に安置されたご遺骨を引き取りに來飯されました。金さんは1942年9月に徴用・強制連行され、45年9月に亡くなられ市内の寺院に無縁仏として安置されていた。その後2000年12月に無窮花堂が建立され、同胞とともに無窮花堂に納骨されました。

キムチョンマン
金千萬さんの遺骨を手にとっている次男の妻・朴静子さん

無窮花堂での奉還式の様子



「長生炭鉱のピーヤ(旧長生炭鉱排気竪坑)に関する説明板についての要望」

その後の経過報告

2013年に宇部市政が作成した標記説明板「長生炭鉱と石炭産業」について、当会は、「1. 史実と異なっていること」「2. 犠牲者遺族を再び傷つけること」「3. 侵略戦争の肯定を連想させること」等を理由とし、その設置工事を阻止した上で、その問題解決のために市政と繰り返し話し合いを続けてきました。そこで、主に会報誌『刻む会たより』を通して、全国に賛同を呼びかけ 197 名の賛同者を得て、2017 年 6 月 30 日付で宇部市長・同教育長・同市議会議長宛に、修正案とともに標記要望書を提出しました(当会 HP にてご覧になれます)。

この度、宇部市長ならびに同教育長より、回答がありましたので皆様にお知らせいたします。なお、賛同者で『刻む会たより』の送付を受けておられる方には、この報告をもって、改めての報告を割愛させていただきますのでご容赦下さい。

今後の対応については、次回の宇部市政との「長生炭鉱水没事故問題解決協議会」における協議を踏まえて、運営委員会で検討実施していきます。改めてお願いを申し上げる際には、何卒ご協力下さいますようお願い申し上げます。

運営委員会

【修正案】

海に沈んだ長生炭鉱

目の前の海から突き出ている二本のピーヤ(排気・排水竪坑)は、昔、ここに長生炭鉱という海底炭鉱があった名残です。
長生炭鉱は1914年(大正3年)に開鉱された海底炭鉱で、最盛期には炭鉱内外で約千名の人々が働き、年間約16万トンを出炭していました。1942年(昭和17年)2月3日午前9時ごろ、本坑口から約1キロメートル沖合において海水が坑道に流入し、水没事故(水非常)が起こりました。
この事故で183人もの労働者が犠牲となりました。そのうち136人は日本の植民地時代に朝鮮半島から強制的に連行された朝鮮人労働者でした。犠牲者は一人として遺体を引き上げられることなく、未だに冷たい海に眠っています。
1982年には、地元有志によって「殉難者之碑」が、2013年には、地元市民団体「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会」によって「犠牲者追悼碑」が建立されました。また、西光寺には、当時作成された犠牲者の位牌が保存されています。

2016年 月 宇部市

【2013年に宇部市が作成した説明文】

長生炭鉱と石炭産業

宇部市は石炭によって発展してきました。石炭は黒ダイヤと呼ばれる多くの利益をもたらしてきました。一方で、地下や海底で作業を行う炭鉱では、事故により、多くの犠牲者を出してきた歴史があります。
長生炭鉱は大正三年(一九一四年)に開鉱された海底炭鉱で、最盛期には炭鉱内外で約千名の人々が働き、年間約一六万トンの石炭を出炭していました。昭和十七年(一九四二年)二月三日、本坑口から約一キロメートルの坑道内で異常出水し、坑内で働いていた一三六名の朝鮮半島出身者を含む一八三名が犠牲になりました。
眼前の海中に立つコンクリートの円柱二基はピーヤ(坑)と呼ばれる、坑道内の換気のための竪坑で、当時の長生炭鉱の名残りを今に伝えています。
周辺では新浦炭鉱(大正八年開鉱)や常盤炭鉱(昭和二年開鉱)などでも石炭の採掘が行われていました。石炭は郷土の産業経済だけでなく、国のエネルギー政策を支えてきました。私たちは先人たちの命をかけた炭鉱への思いを未来へと継承していかなければなりません。

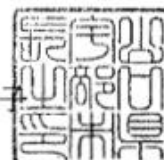
平成二五年(二〇一三年) 七月 宇部市

宇 教 学 び 第 4 7 号
平成29年(2017年) 9月 6日

長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会

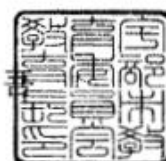
共同代表 井 上 洋 子 様
内 岡 貞 雄 様
木 村 道 江 様

宇部市長 久保田 后子



宇部市教育委員会

教育長 野口 政



長生炭鉱のピーヤ（旧長生炭鉱排気竪坑）に関する説明板に
ついての要望について

初秋の候ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

平素から、本市の文化財行政の推進につきましては、格別の御理解と御協力をいただき、
厚くお礼申し上げます。

さて、2017年6月30日付けで提出のありました長生炭鉱のピーヤ（旧長生炭鉱排気竪坑）に関する説明板についての要望について、下記のとおり回答します。

記

説明板「長生炭鉱と石炭産業」については、これまでも回答しているとおり、宇部市全体の石炭産業に触れながら長生炭鉱にも触れた内容としており、長生炭鉱に限定して作製したものではありません。従いまして現時点で文面を修正する予定はありません。

御理解を賜りますようお願いいたします。

学びの森くすのき・地域文化交流課

（担当）池田

TEL 67-1277

「宇部市長との交渉」と「市議会議員との懇談会」

事務局長 小畑太作

毎年の追悼集会の際に行われていた宇部市長との懇談（表敬訪問）が、ほぼ儀礼的なやり取りに終わる中、市長側から「協力の具体化については市民との協議を経て」との発言を受け2010年8月より始められた「長生炭鉱水没事故問題解決協議会」が、この8月で35回を数えた。開始に先立って当時、当会は追悼碑建立用地を取得したが、これに市税を課税するなどもあり、毎年の表敬訪問時の言葉とは裏腹に、市長側の無理解が甚だしかったことも協議会を開催した理由の一つでもあった。



長生炭鉱水没事故問題解決協議会の様子

しかしこの7年間、協議の内容は遅々として進まなかった。当初から、具体的協力点の提示について市長側はしないというので、当会から6項目の協力点を提示したが、協力点

の具体化どころか、市長側の無理解が露呈するばかりであり、歴史認識は勿論のことであるがそれ以前に、協議をする前提すら揺るがす問題発言や姿勢への指摘に対しても誠実な回答を得ることすら叶わなかった。

そこで「市議会議員との懇談会」を開催することとした。もとより、市議会議員の中には個人的協力者はいたものの、この問題解決のための議員としての働きは殆ど見られず、1999年3月を最後に、この問題が議会で取り上げられることもなかった。

2017年7月21日に28名（7会派＋無所属）の市議会議員全員に案内書を送付し、一ヶ月後の8月21日に開催した懇談会に出席してくれた議員は5名（3会派）であった。

まず、当会より問題の概要と、この間の市長との協議の概要報告の上、懇談した。二点が申し合わされた。一つは、1999年の上記質問に対して前市長は「国際親善の意味で、この問題を解決することは重要であり、対応していく」旨答弁しており、現市長がこの姿勢を継承しているか否かを議会で確認すること。もう一つは、この懇談会を第一回とし、時宜を見て継続することである。

果たして、懇談会から20日後の9月12日、市議会本会議の一般質問で、懇談会出席者の一人であった荒川憲幸議員（日本共産党宇部市議会議員団）が、長生炭鉱について（1）現市長の基本的な考え方（2）これまで 経緯と今後の取り組み、の二点を質問した。その結果、市長側からは「国政府の方針や見解に従

う」という地方自治の精神に反する答弁がなされるも、前市長答弁の姿勢を継承するとの答弁を引き出すことが出来た。更にこの間の協議の不誠実さについても指摘がなされ、回答に窮した部長に代わって、副市長が質問の幕引きを図るために答弁するという一幕もあった。また議会報道という枠内ではあるが、長生炭鉱水没事故について地元新聞が掲載したことも意義あることだと考えている。

言葉がある限り、この問題は、そして歴史的問題は必ず解決や和解へいたるものと信じている。逆に言えば、葬り去ることなど出来ないのだ。しかしそのために、言葉を紡ぐための知恵の必要を改めて感じさせられた。様々な手立てがあるはずである。今後、あらゆる手立てを検討実施していきたい。この点についても、皆様のご提言とご協力を是非ともお願いしたい。

宇部日報（2017年9月13日）掲載

ピーヤ説明板設置を協議
西岐波市住、余剰地の管理強化

荒川議員
荒川憲幸議員（共産）
1942年に183人が犠牲となった長生炭鉱の事故についての基本的な考え方は、
久保田厚子市長 大変、説明板が設置できるような痛ましく、哀悼の意を表する。市民団体である長生炭鉱の水没を歴史に刻む会は、2013年に慰霊碑を建立、遺骨の収集や返還、ピーヤの保存、遺族への賠償など朝鮮半島に、管理を強化する。

庄實美和子広報・シテイセールズ部長 重要と考えており、答弁の内容を継承している。

島出身の犠牲者の遺族に寄り添った活動をされて、政府の方針や見解に従い、地方自治体という立場を踏まえて、人道的な見地から取り組むとともに、ピーヤに関する、
白石光芳都市整備部長 7月に6戸を募集し、41件の応募があった。
荒川議員 建て替えて生じた余剰地の環境整備は、
久保田市長 隣接自治会の協力を得ながら定期的に草を刈っている。今後は、西岐波市民センター職員らがパトロールし、管理を強化する。

「いのちのひろば」

運営委員 横山 潤

9月13日(水)、原則毎月第二水曜日に行われる山口朝鮮学校への補助金復活要請行動に参加しました。山口県は、2013年度より山口朝鮮初中級学校への「私立学校補助金」計上を見送り続けており、それへの抗議、復活要請の活動が、積み重ねられています。通常の毎月の要請行動では、「昼前からの県庁前広場座り込み」オモニ会ご準備の昼食後座談会が行われます。「刻む会」のメンバーの多くが、この運動の中で重要な役割を担ってきており、現在は、最近発足した「朝鮮学園を支援する山口県ネットワーク」の加盟団体として、「刻む会」の活動の中に位置づけられています。「長生炭鉱の水非常」と、「朝鮮学校での民族教育の権利保障」とは、歴史の縦軸と、社会の横軸で、事柄として深くつながっていることなのかなあ、と思います。

私は、「刻む会」の片隅に参加していて、更にこの「ネットワーク」の片隅に参加しています。「座り込みに、ひとりでも多く参加したら、ひとり」ということだけです。

今月の「座り込み」の参加者は、約30人。文字通り「ネットワーク」で、さまざまな団体・個人がつどいます。爽やか且つ汗ばむ気候の中、ゼッケンをつけ、屏風型やスタンド式の看板を並べ、簡易椅子に座り込む人たち。あちらこちらで、世情を憂い、怒り、でも笑顔のある会話が往き来します。人工物感の強

い場所なのに、「いのちのあるひろば」、ですね、今は。ネットワーク加盟団体で「刻む会」とのつながりの深い、下関の通称「ニコリ会」(日本とコリアを結ぶ会下関)の鍬野保雄さんが若いオモニたちと並び、厳しい内容・明るい表情の先導で、県庁にむかってシュプレヒコール。

県政資料館に場所を移しての座談会は、今日は、「刻む会」の小畑太作事務局長原案の、県知事・教育長宛の、「学校法人山口朝鮮学園への補助金停止に関する質問と要望」という、論文の如き労作の検討が中心でした。



活動日誌(前回たより以降)

2017年

※太字: 詳細は記事にて紹介

▽7月2日(金) 石川県知事による『「餓死させなければいけない」発言に関する抗議と要望』書提出

▽7月12日(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する山口県知事との協議・座談会

▽7月15日(土) 釜山「国立日帝強制動員歴史館」見学

▽7月21日(金) 第4回運営委員会

▽7月22日(土) 無窮花堂遺骨奉還式

▽7月28・30日(金・日) 平和フェスタ2017(夏の学習会)

▽8月5日(土) 民団広島主催「第48回韓国人原爆犠牲者慰霊祭」

都裕史さんFW

▽8月9日(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する山口県庁前座り込み・座談会

▽8月15日(火) 「建国記念の日」宇部奉祝大会
「天皇誕生日」宇部奉祝大会」への宇部市助成金交付問題についての公開質問状提出

▽8月18日(金) 第5回運営委員会

▽8月21日(月) 第1回市議会議員との懇談会

▽8月24日(木) 第35回長生炭鉱水没事故問題解決協議会

▽9月6日(水) 韓国・洪川郡女性団体協議会FW

▽9月9日(土) 強制動員真相究明ネットワーク事務局会議

▽9月10日(日) 犠牲者遺族・松山光明さんDNA採取

▽9月13日(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する山口県庁前座り込み・座談会

▽9月15日(金) 第6回運営委員会

▽9月16日(土) 大阪市立大学・人権問題研究センターFW

▽9月21日(木) 福岡県筑後ブロック社会人権同和推進協議会FW

会計報告（2017/07/01～2017/8/31）

（円）

【一般会計】

	科 目	年度予算	期間実績	実績累計	率	備考
歳入						
1	会費	400,000	86,000	400,000	100.0%	
2	寄付金	1,000,000	293,820	389,148	38.9%	※
3	物販	40,000	10,100	14,800	37.0%	
	証言・資料集	20,000	10,100	14,800	74.0%	
	その他	20,000	0	0	0.0%	
4	雑収入	5,000	0	0	0.0%	
5	前期繰越金	0	0	0		
6	特別会計より繰入	0	0	0		
	合 計	1,445,000	389,920	803,948	55.6%	

歳出						
1	事務費	60,000	9,117	38,150	63.6%	
2	広報費	220,000	47,431	47,431	21.6%	
3	会議費	30,000	0	30,000	100.0%	
4	追悼碑管理費	10,000	1,936	2,996	30.0%	電気代、鍵代
5	活動費	750,000	45,652	74,735	10.0%	
	学習会等	70,000	23,030	47,195	67.4%	夏の学習会
	追悼集会	500,000	0	0	0.0%	
	その他活動	180,000	22,622	27,540	15.3%	諸派遣費
6	他団体会費等	40,000	5,000	30,000	75.0%	無窮花友好親善の会
7	雑支出	35,000	790	11,330	32.4%	
	手数料	25,000	790	6,330	25.3%	
	その他	10,000	0	5,000	50.0%	
8	予備費	50,000	0	0	0.0%	
9	特別会計へ繰出	250,000	0	0	0.0%	
	小 計	1,445,000	109,926	234,642	16.2%	
10	繰越金	0	279,994	569,306		
	合 計	1,445,000	389,920	803,948	55.6%	

※ 寄付者（敬称略）

麻野 他郎 市川真美恵 猪股健太郎 今橋 宣子 木村 道江 高 廣 明 沢村 裕
白川 猶子 田中 豊 谷本 育紀 崔 東 基 林 修二 平岡 恵子 藤井 達正
藤本 明美 堀 明子 宮田 幸好 森田 彰人 山本 英治 山口県母親大会 FW 参加者有志
（その他匿名7名）

【追悼碑特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,978,116				
繰入金	0		繰越金	1,978,116	
合 計	1,978,116		合 計	1,978,116	

【遺骨収集等特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,695,054		DNA 検体採取鑑定	27,240	
繰入金	0		繰越金	1,667,814	
合 計	1,695,054		合 計	1,695,054	

以上感謝をもってご報告いたします。
引き続きのご支援をお願い申し上げます。

【委員会開催】

- ① 第4回 7月21日（金）欠席3名。
- ② 第5回 8月18日（金）欠席3名。
- ③ 第6回 6月16日（金）欠席4名。

【追悼ひろば】

1. 韓国在住の美術家による絵画設置の具
体化検討。
2. 一部屋根設置を検討。

【遺骨等収集】

1. 政府交渉のために国会議員に仲介を依
頼するための交渉を準備。
2. 遺族データベースを引き続き拡充中。
日本人1名のDNA検体を採取解析。
3. 福岡で開催された「各地における遺骨
の取り組みについての交流会」に委員を
派遣。「遺骨奉還宗教者市民ネットワー
ク」に加入。

【抗議・要望書】

1. 石川県知事「餓死させなければならな
い」発言への抗議と要望（7月2日付提
出）
2. 「建国記念の日」と「天皇誕生日」の
両奉祝大会への宇部市の助成金問題につ
いて他4団体と協力して公開質問状を8
月15日提出。8月30日回答を得るも殆ど
回答になっておらず、11月4日に5団体
で市民報告会を開催予定。

【学習会等】

1. 夏の学習会を「健文会平和フェスタ2
017」の担当と併せて開催すること
し、同実行委員会に委員を派遣。
2. 第63回山口県母親大会第10分科会「海
に沈んだ長生炭鉱」FW 7月2日受入対応。
3. 大阪市立大学教員FW 9月16日受入対応。
4. 筑後ブロック社会人権同和教育担当者
協議会FW 9月21日受入対応。
5. 福岡県田川市人権・平和協議会FW 9
月30日受入対応。
6. 福岡県私学協会FW 10月11日受入対応。

【資料収集】

1. 2名の聴き取り実施、1名の聴き取り
検討。
2. 映像と紙資料のデジタル化の作業継続。
3. 紙芝居「アボジは海の底」のオリジナ
ル映像化を検討開始。

【遺骨・遺品等の収集と返還】

1. 某国会議員より取組協力要請を受け対
応検討。
2. 遺族のデータベース化作業継続。
3. 在日遺族1名のDNAを採取。

【宇部市長との協議】

- 第34回問題解決協議会を6月30日（金）、第
35回を8月24日（木）に開催。いずれも「福
社会館」。
1. ピーヤの説明板設置 「長生炭鉱のピ
ーヤ（旧長生炭鉱排気竪坑）に関する説
明板についての要望」198名の賛同者を得
提出（6月29日付）。9月6日付回答書

を得るも対応を拒否。今後の対応を検討
中。

2. ピーヤ等の保存 法的保護と護岸工事
の見直しを要請。継続協議。
3. 遺骨等の収集と返還 在日遺族の調査
協力を求めるも、根拠法なしとの理由で
拒否。
4. 追悼碑への協力 市長の出席を要請。
継続協議。
5. 追悼碑への協力 土地提供の協力を要
請。継続協議。
6. 市民への教育 石炭記念館所管の公園
整備局との協議を検討。
7. 市議会議員の協力を得るため「市議会
議員との懇談会」を8月21日（月）開催。
次回は10月6日（金）10時「宇部市福祉会館」

【資料の発刊】

1. 韓国で出版されている『角が出た海』
の日本語版出版の下訳作業中。

【山口朝鮮初中級学校への助成金停止問題】

1. 朝鮮学校を支援する山口県ネットワー
クの加盟団体として、県知事と下関市長
への要請行動に参加。
2. 山口県知事と教育長への再質問書案を
作成。
3. ネットワークのイベントと会計を引き続き
担当。

【他団体との連携】

1. 無窮花堂遺骨奉還式に委員を派遣
2. 韓国人原爆犠牲者慰霊祭に委員を派遣

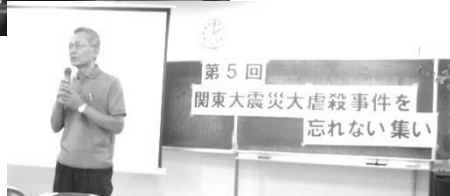
他の事項は「活動日誌」をご参照下さい。

関東大震災時朝鮮人大虐殺追悼集会

今年も各地で追悼集会が開催されました。神奈川集会と荒川集会（東京在住の大野剛義氏）、下関集会（内岡貞雄共同代表）より写真が届いていますので紹介します。



← 下関集会



← 荒川集会 ↓



神奈川集会 ↓



事務局で取り扱っている書籍のご案内です。ご希望の方は、事務局までご連絡ください！

書籍のご案内

証言・資料集【1】【2】【3】



絶賛！好評発売中！

頒布価格 1冊 300円

2冊セットで 500円

3冊セットで 700円

大韓民国 対日抗争期強制動員被害調査及国外強制動員犠牲者等支援委員会 編

まだお持ちでない方！
ぜひお買い求め下さい！



『日本の長生炭鉱水没事故に関する真相調査』報告書
(日本語版)

カンパ1000円以上で差し上げています。



『委員会活動結果報告書』
(日本語版)

ご希望の方は、カンパ 300円(送料込)でお送りします。

「たより」同封物

☆奉祝大会問題報告会

チラシ

☆振替用紙

追悼集会のご案内

2018年2月3日(土)

開催予定！

詳細は次回お知らせします。

みなさまのご参加を

お待ちしております！



『刻む会たより No.65』掲載誤り
以下の訂正をお願いします。

運営委員を務めてくださっていた藤井和義さんについて、「4月2日に亡くなられました。」と記載しましたが、「4月16日」の間違いでした。訂正してお詫びいたします。